

市原市のなし生産における花粉確保の取組

～中国産花粉の輸入停止を受けて～

1 活動のねらい

中国産花粉の緊急の輸入停止を受けて、市原市農業振興協会果樹部梨部会を対象に、次年度以降のなしの安定生産を目的に関係機関と協力し、自家採取による花粉確保の方法の周知に取り組みました。

2 課題の背景

火傷病は、なしの樹を急速に枯死させる病気で、世界的に発生しており、未だ防除方法が確立されていません。本年8月、中国での火傷病発生を受けて、急遽、中国産のなし花粉の輸入が停止しました。

市原市農業振興協会果樹部梨部会は生産者 67 戸でなしを生産しており、「いちほら梨」として販売しています。同部会では輸入花粉を使用している生産者が多く、少数ではありますが自家採取をしたことがない生産者もあり、今回の花粉の輸入停止に対応するため、花粉採取のための樹の管理や花粉採取の考え方等の周知を図る必要がありました。

3 普及活動の経過・結果

(1) 関係機関会議での方針の決定

9月4日に JA 市原市の担当者と各関係機関で取り組むべきことについて共有を図るとともに、必要な支援や、産地内で確認しておかなければならないこと等を整理しました。また、その後も月に1回程度関係機関で集まり、打ち合わせを行いました。

(2) 講習会での火傷病、花粉確保についての情報提供

ア 土づくり講習会での周知

9月19日に行われた土づくり講習会の際に、火傷病の特徴と中国からの花粉の輸入が停止したことについて説明しました。また、火傷病を国内で発生させる要因となりかねないため、次年度以降の受粉作業では中国産花粉を使用しないように強く呼びかけました。

イ 防除講習会での花粉採取方法の研修

10月25日に行われた防除講習会



写真1 土づくり講習会の様子

では、火傷病が発生した場合、伐採・作付け禁止となるエリアが設定されることになり、産地全体へも影響があるため、中国産花粉を使用しないことを呼びかけました。また、花粉採取の方法や品種ごとに使用できる品種等の情報提供を行い、花粉が足りない場合には優先順位をつけて受粉作業を行うことが重要であると呼びかけました。



写真2 防除講習会の様子

(3) 剪定検討会での花粉採取の実技指導

11月24、27、29日に行われた剪定現地検討会では「花粉採取を考えた枝の残し方」をテーマに講習しました。検討会では最初に花粉採取マニュアルを用いて、花粉採取の方法と考え方について解説した後、花粉確保に必要な枝の残し方、剪定方法について説明しました。検討会は9支部を6回に分けて開催し、生産者ごとに花粉の確保状況などについて聞き取りました。



写真3 剪定現地検討会の様子

(4) 労力分散の現地試験の実施

なしの開花時期は短期間であり、その時期に花粉採取、受粉作業を行わなければならないため、労力が課題となることが考えられます。そこで、労力不足を改善するために、切り枝に開花促進処理を行い、花粉採取時期を分散させる試験を関係機関で連携して取り組んでいます。

4 今後の課題

なしの安定生産において花粉の確保は必要不可欠なものです。花粉の輸入停止は今までに例がないため、今後生産者ごとに様々な課題が生じてくると思われます。安定した花粉の確保により、生産者がなし生産を継続できるように今後も支援していきます。

5 担当者 市原グループ ◎小村享史

6 協力機関 市原市、JA市原市